

地域おこし協力隊活動記

皆さん、こんにちは古崎泰介です。4月になり今年度の委嘱状を受けて、地域おこし協力隊の3年目に入ります。今年はさまざまな活動に加え、協力隊の終了後に向けての取り組みもあるので、これまでより忙しくなりそうです。

今年はまちなかの賑わいを創出する拠点の設置に携わります。中心街に人の流れを作れるようにしたいと思います。

移住促進も頑張ります。移住を希望する人に喜ばれる体験プログラムを企画しています。彼らをサポートする中で自身の定住にも役立てられることを学び取りたいと思います。

協力隊の終了後は、地域資源を活用した事業を始めることが頭の中にあります。これまでの6次化創業塾などで学んだことを役立て、地域の強みを生かせる商品や地域ならではの体験などを形にします。それらをターゲットになる町外の人へ提供し、町のファンが増える結果に結び付けることを狙おうと考えています。

3年目ということで盛りだくさんになりますが、協力隊の活動に一段と励んでまいります。



「町長から委嘱状を受け取りました。引き続きよろしくお願いします！」

ふるさと小野町会 ふれあい通信

小野町物産店を応援して

私は、飯豊の出身で旧姓は羽生といいます。ふるさと小野町会埼玉支部には同級生が大勢おり、心強く感じ、悩むこともありますが、楽しみも多くあり心が休まります。

小・中学校時代は、将来、小野町を離れて生活をするとは夢にも思いませんでしたが、現在は近くにいる同級生と時々食事をしたり、小旅行をしたりと楽しんでおります。

近況ですが、小野町が交流や特産品のPRのため出店している相模原桜祭り、川の手荒川まつり、戸田商工祭などを応援しています。野菜や黒にんにく、一笑漬け、レタス、乾麺、ゆで卵、まるめ餅、大福など、ふるさとの品々の販売を手伝っております。最初は、品物の販売のためお客さまへの声掛けに必死で、気がついた頃は、自分が買い求めることにしていた品物がなくなるなどしました。おのげんき・エプロン館には大変お世話になりました。

東京日本橋にある「ミデッテ」物産館の小野町コーナーで販売を応援していたときのことで。初老の紳士が「俺、ふくすまの出だげんちょ、小野町はどこだっぺ？」と聞かれ、私は「中通りなんだけど、あぶくま鍾乳洞わがっかい？」と言うと、「うん分かる。」と応え、「その隣の町で小野小町が出たところなんだわな」とつつい方言に引き込まれ、小野町弁丸出しで話をしてしまいました。その時には、小野町の特産品、黒にんにく、焼酎東堂山、日本酒仁井町などを買い求め、美味を味わうことができ大満足でした。



埼玉支部(飯豊出身)

佐々木 ミサコ

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故の放射能の影響は現在ではほとんどないにもかかわらず、小野町の方は風評被害に苦い思いをしていることと思います。福島を離れて暮らしている皆さんは、確かな情報を得る必要があると思います。

小野町の関東地方での出店を応援して初めて、離れた故郷小野町を誇らしく思い、良いところを思い出し胸が「キュー」となりました。

皆さんも、田舎の良いところが発見できるかもしれません。小野町のコーナーにぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。